

新総合計画に 基づく 新年度予算は

原 紀夫議員

新年度予算は2年続いたの積極予算で、総額でも4年ぶりの増額となっている。普通建設事業費も7億円近くはふくらみ、町民目線からすると納得しがたいものがある。

医療や福祉の充実等に配慮している面は伺えるが、新年度予算は新しい総合計画に沿ったものであり、継続の事業が大半を占めている。平成16年度の33事業は、新年度では46事業となり、増加の一途をたどっている。

この際、職員の英知を結集し、大胆な事業の見直しが必要ではないかと考えるがいかがか。

高薄町長

平成23年度予算は、第5期総合計画と照らしながら、医療・福祉、子育て支援のほか、人材育



今後10年間、総合計画に基づき、まちづくりが行われる。

成やまちなかの活性化等の施策に重点を置いて予算編成を行った。

今後、総合計画の事業を実施していくうえで、町民参加ができるような体制をつくりたいと考えている。

また、事業の見直しについては、必要に応じて実施していく。

悪徳商法や 詐欺行為から 高齢者を守る 対策は

原 紀夫議員

本町は高齢者被害の受けやすい町との風評がある。本年に入ってから、悪質な詐欺事件も発生している。悪徳商法に

よる高齢者の被害は巧妙化してきており、全町的な監視や見守り対策が急務と考える。

町と消費者協会等で連携し、現在まで進めてきた対策や今後の防止策について伺う。

高薄町長

平成22年度に地域安全ネットワークを立ち上げおり、そのなかで悪質な訪問販売から高齢者を守る対策を行うと

している。今後、消費者協会、警察、生活安全推進委員会、町内会等で構成する消費者被害防止対策ネットワークを構築して対策を進めていきたい。

まちなか団地の 公営住宅建設

原 紀夫議員

まちなか団地公営住宅建設は民間が建設し、町が買い取る方式とな

るようであるが、買い上げは総コストを試算し、最も有利な方法であると判断をした結果だと思つが、まちなか団地22戸を建設した場合での町建設と民間建設での建築費の差額はどのようになるのか。

また、入居者に対して行ったアンケート調査の結果、新住宅に移転する際の問題点等は把握できたのか伺う。

高薄町長

清和団地の建て替え計画に伴う公営住宅の建設となるが、民間が建



老朽化のため建て替えられる計画の清和団地。

設して町が買い取る方式だと、町で建設するよりも、まちなか団地22戸建設で約1000万円、清和団地60戸建設で約1億円程度経費を削減できると試算している。

現入居者への説明会はすでに実施しており、建て替え後の家賃については、世帯収入によって設定されるが、入居者と面談をしながら詳細を決定していきたい。

エゾシカの 被害対策

原 紀夫議員

近年、エゾシカの生息数は増加の一途をたどっている。捕獲の担い手不足のなかで、本町の捕獲頭数は減少している状況にある。

被害を少なくするには、一頭ずつ個体を減少させる以外にないと考えられる。

捕獲の担い手不足対策、わなによる駆除等についての現状と今後の被害防止対策について伺う。

高薄町長

エゾシカによる農業被害額も年々多くなり、町への駆除依頼が増加している。

本町は猟友会に駆除を依頼しているが、同会のハンターも高齢化し、担い手が不足している状況である。

今後は、隣接町と連携し、共同での駆除を実施するなどの対応策も検討していきたい。

高齢者 世帯等への 安全対策は

佐藤幸一議員

①住宅用火災警報器の設置が義務化されているが、高齢者世帯では設置されていない世帯が多く、町として設置促進